「学校における働き方改革　取組の重点項目と主な取組内容」（アクションシート・学校版）　記入例はこちら

学校名　山梨県立上野原高等学校

（※1）【主な取組内容の詳細】を確認	（※2）【取組の重点項目「独自①・独自②」】を記入	（※3）【年度ごとの取組項目】を決定	（※4）【年度ごとの達成状況】を記入
取り組みの詳細（※1）から確認	年度始めに ①取組主体ごとの独自の取組を記入する（任意） ②各重点項目の取組で、独自の取組が3つ以上ある場合は、「6. 各取組主体のその他の独自取組」の「独自①」～「独自⑩」に内容を記入し、年度末に評価する	年度始めに 「〇」：本年度取り組む項目 「－」：本年度は取り組まない項目 ※取り組まない理由を【年度ごとの達成状況】の【分析】の欄に記入	年度末に 《評価の欄》 A：達成できた　B：ある程度達成できた　C：あまり達成できなかった　D：達成できなかった ※「年度ごとの取組項目」が「－」の場合は「－」を選択 《分析の欄》 評価が「C」または「D」の場合、その要因等、分析結果を記入 ※「取り組みの重点項目1」の④については、評価にかかわらず「きずなの日」の実施回数を記入

取組の重点項目 1 取り組みの詳細（※1） 【勤務時間管理の徹底及び適切な勤務時間の設定】	年度ごとの取組項目（※3）				年度ごとの達成状況（※4）							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①勤務時間管理の徹底	〇	〇	〇		B	年間を通して管理はしたが徹底はできなかった	B	ICT等を活用して、客観的に計測した。				
②効果的な勤務時間の割り振り	－	－	〇		－	年度が開始されていたので本年度は検討を見送った	－	本年度は検討を見送った。				
③学校閉庁日の設定	〇	〇	〇		A	予定通り実施した	A	夏季休業中の学校閉庁日を設定した。				
④「きずなの日」の着実な推進	〇	〇	〇		A	実施回数 20 回　予定通り実施した	A	実施回数 21 回　予定通り実施した		実施回数 回		実施回数 回
⑤定時退校日及び退校時間の設定	〇	〇	〇		B	個別に置かれている状況下で達成できない部分があった	B	設定したが、十分とは言えなかった				
⑥1年単位の変形労働時間制についての検討	－	－	－		－	運用制度の見通しが立っていないため、本年度は検討を見送った。	－	制度運用の見通しが立っていないため				
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 2 取り組みの詳細（※1） 【勤務時間・健康管理を意識した働き方の徹底】	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①管理職のマネジメント力の向上・リーダーシップの発揮	〇	〇	〇		B	自己観察票に明記させた	B	教職員の勤務時間を適切に把握した。				
②一人ひとりの教職員による働き方の見直し・意識改革	－	〇	〇		－	教職員削減が続いており見通しが立たない	B	働き方改革に関する取り組み方針を周知した				
③教職員の健康サポート・教職員の健康管理の推進	〇	〇	〇		A	一人一人の健康管理に寄り添うことができた	B	長時間勤務者を把握し、働き方の改善に努めた。				
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 3 取り組みの詳細（※1） 【校務の精選・効率化・明確化】	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①業務の役割分担の見直しと適正化	〇	〇	〇		C	教職員削減が続いている	C	業務分担の見直しを行ったが十分ではなかった。				
②各学校の実情を踏まえた行事・会議等の見直しと、「アクションシート」の作成と検証	〇	〇	〇		B	コロナ禍でもあり大胆な見直しができた	B	学校行事の見直しに取り組んだ。				
③ICT等を活用した業務改善の支援	〇	〇	〇		C	ICT利用が業務改善には直接、繋がっていない	B	職員会議等のペーパーレス化を実施した。				
④外部人材の確保・活用	－	〇	〇		－	運用制度の見通しが立っていないため、本年度は検討を見送った。	B	ICT支援員の活用がある程度できた。				
⑤会計業務の管理に係る検討	〇	〇	〇		C	私費会計の厳格化で業務が大幅に増えた	B	私費会計の管理業務の効率化を検討した。				
⑥若手教員のサポート	－	〇	〇		－	年度が開始されていたので本年度は検討を見送った	B	管理職やベテラン教員が日常的に声掛けをした。				
⑦事務職員と教員の連携・協働の推進	－	〇	〇		－	運用制度の見通しが立っていないため、本年度は検討を見送った。	B	事務職員の専門性を生かし切れなかった。				
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 4 取り組みの詳細（※1） 【PTA・地域・関係諸団体との連携】	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
① PTA・保護者・地域の理解を求める取組の実施	－	－	〇		－	働き方改革への理解ができていないため、本年度は検討を見送った。	－	本年度の取り組みを見送った。				
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 5 取り組みの詳細（※1） 【部活動運営の適正化・部活動指導の負担軽減】	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①部活動ガイドラインの遵守	〇	〇	〇		A	県指針取りに実施した	A	部活動のガイドラインに則した活動を行った				
②部活動指導員等外部人材の活用	〇	〇	〇		B	多くの外部指導者活用をしたいが地域柄人材の確保が困難	B	外部指導者を積極的に活用した。				
③休日の部活動の段階的な地域移行（中学校）	－	－	－		－	県立高校のため	－	県立高校のため				
独自①（※2）												
独自②（※2）												